

チャレンジ 2010

「チャレンジ 2010」の位置付け

チャレンジ2010

KDDIの 基本理念

お客さまの満足
と信頼の確保

株主さま、取引先
さまなどの信頼

従業員の幸せ、
活力ある企業

社会の発展



= 「成長し続ける企業」

チャレンジ2010
(2007 - 10)

「量的拡大」と
「質的向上」の両立

持続的な成長に向けて「戦略とスピード」

(2005 - 06)

MNPによるモバイルの顧客基盤拡大
FTTH事業基盤の整備(東京電力のFTTH事業を統合)

中期経営計画
(2002 - 04)

経営基盤強化に向けて「選択と集中」

au事業にリソースを集中 有利子負債の削減

- あらゆるサービスにおけるお客様満足度No.1を目指す。
- 「量的拡大」と「質的向上」の両立により、持続的成長を図る。
- 2010年度の目標(連結)
 営業収益:4兆円、 営業利益:6,000億円
 - モバイルでの増収・増益基調を堅持
 - 顧客基盤と事業ドメインの拡大による売上高向上
 - FTTH事業等ブロードバンドの推進と固定通信事業の黒字化
 - FMBCの展開と非通信事業ドメインの拡大
 - 法人向けはICTをワンストップで提供するオールラウンドプレイヤーへ発展
- 株主還元の充実を図る。

*Information and Communication Technology

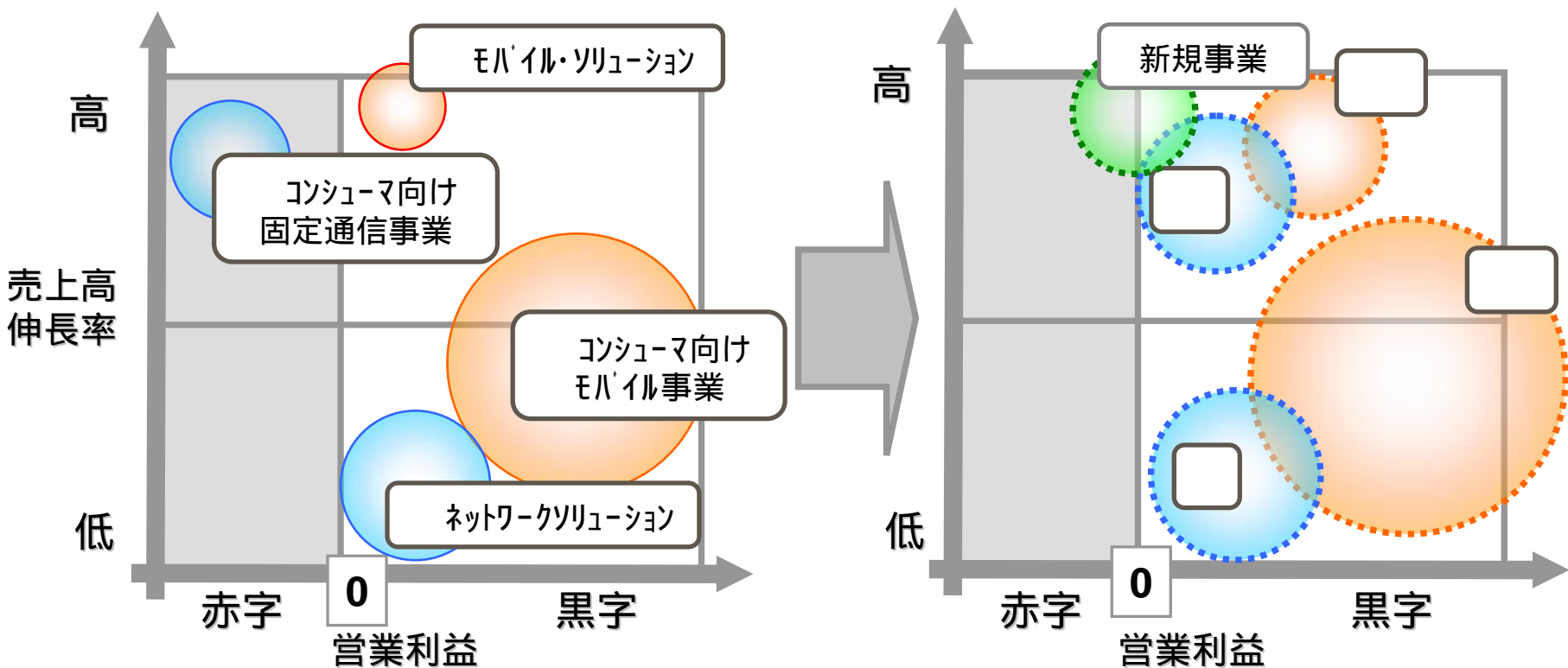
成長ドライバー

- 主力事業である消費者向けモバイル事業が引続き連結業績を牽引し、固定通信事業も採算改善を目指す。

事業ポートフォリオのイメージ

現在

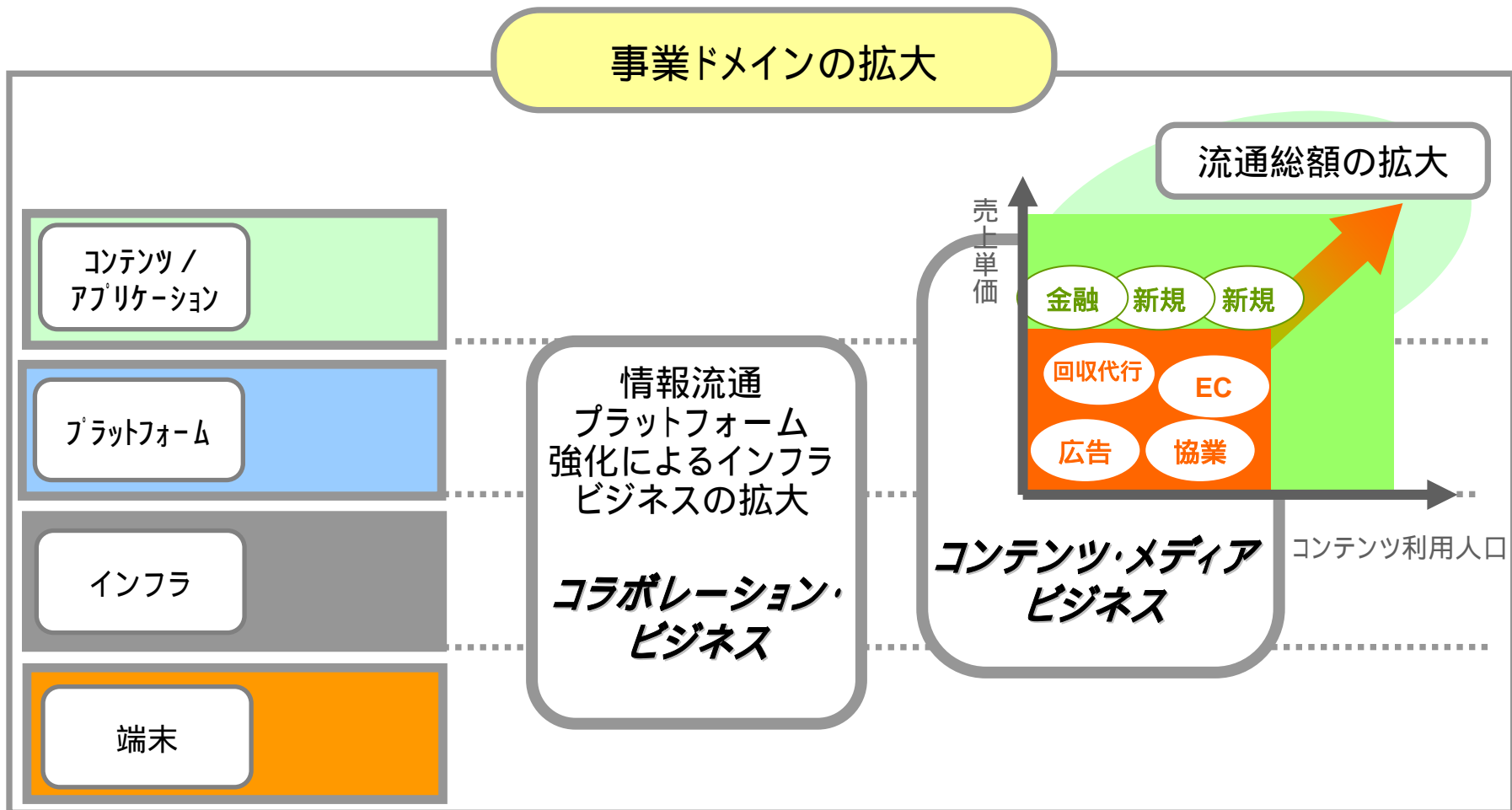
2010年度



(注) 円の大きさは売上高のイメージを表す。

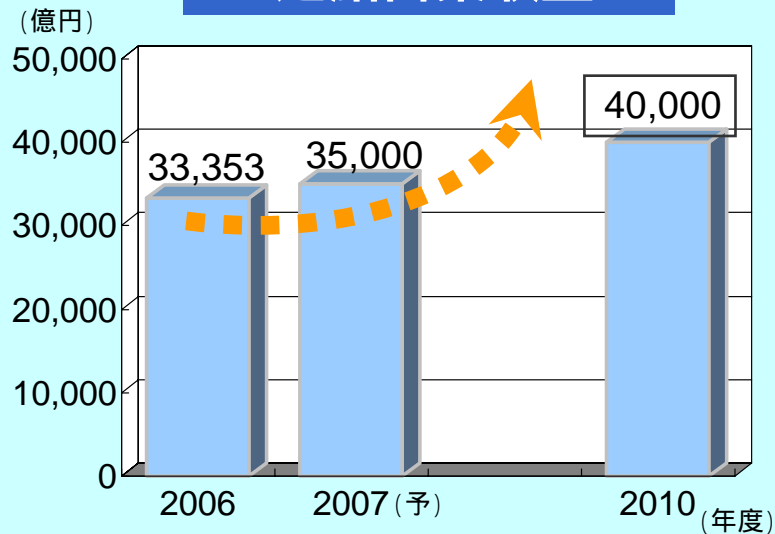
事業ドメインの拡大(1)

- 情報流通プラットフォームの強化、コンテンツ・メディアビジネスへの取組み、流通総額の拡張による事業ドメインの拡大を図る。

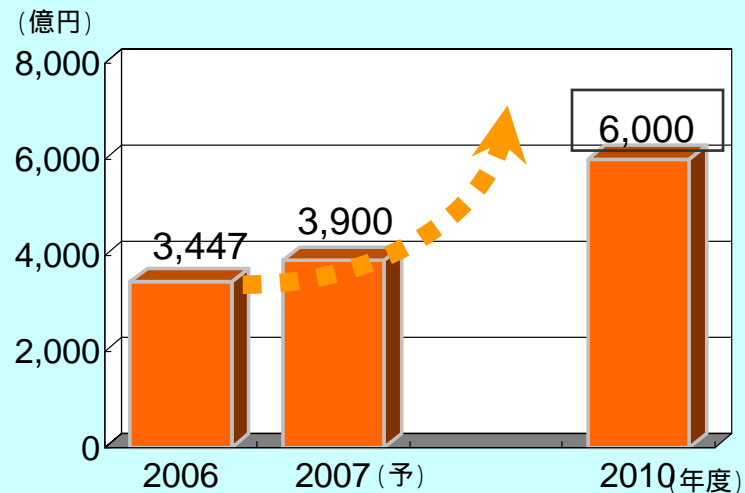


事業ドメインの拡大(2)

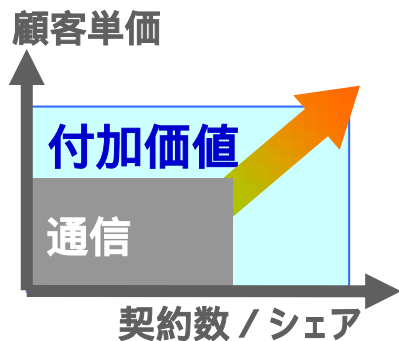
連結営業収益



連結営業利益

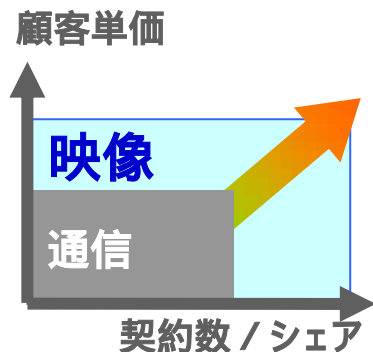


コンシューマ向けモバイル

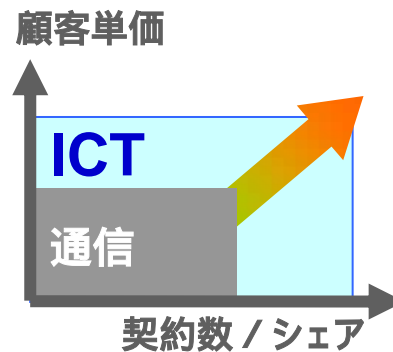


*コンテンツ回収代行、EC他

コンシューマ向け固定通信

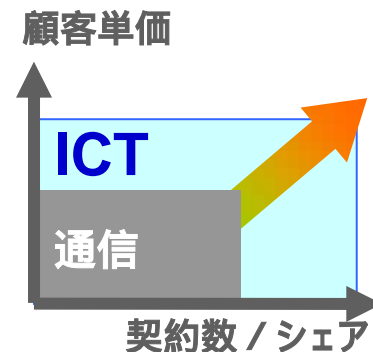


モバイルソリューション



*モバイルソリューション、モジュールソリューション他

ネットワークソリューション



*マネージドサービス、宅内ソリューション他

■ モバイルでの増収・増益基調を堅持する。

➤ 顧客基盤と事業ドメインの拡大による売上高の向上

更なる競争力の強化

端末

- KDDI統合プラットフォーム(KCP+)によるコスト低減とRev.A対応機の拡大

料金・サービス

- 新サービス投入によるARPUの底支え
- 国際ローミングの拡充
- お客様ニーズに見合ったビジネスモデルの開発
- 決済・認証、通信・放送連携サービスの拡充

インフラ

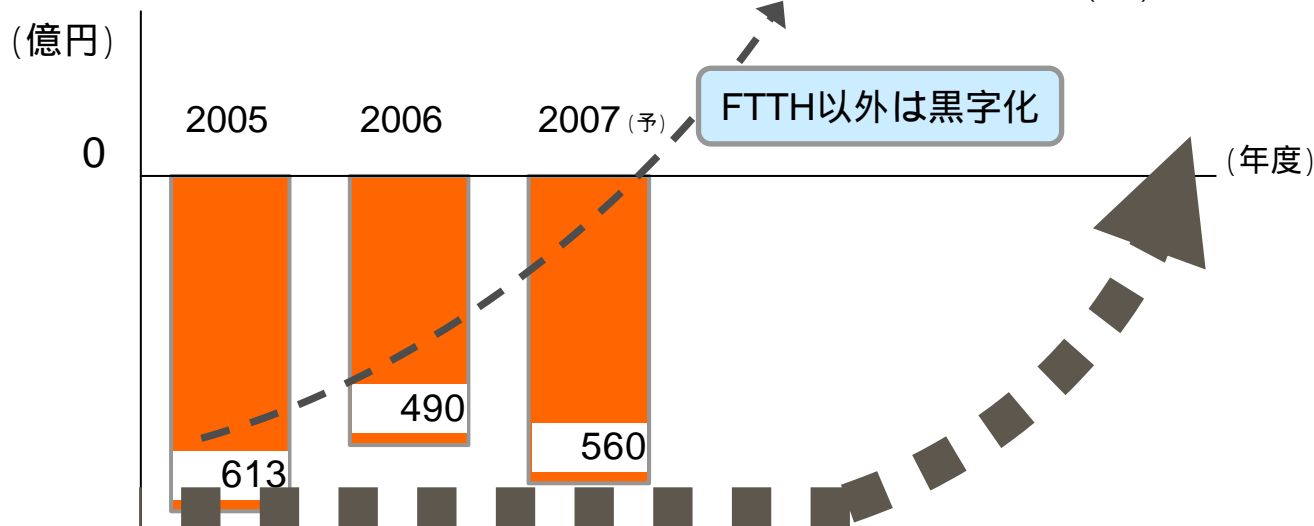
- 800MHz帯周波数再編とカバレッジの拡充
- 通信品質の向上
- ポストRev.Aシステムの商用化

コンシューマ向け～固定通信

- 多様なアクセス網の活用により、FTTH事業等ブロードバンドを推進するとともに、固定通信事業の黒字化を目指す。
 - アクセス網を保有するFTTHについては、中長期的に首都圏の提供エリアで目標シェア30%
 - ブロードバンドの推進による映像ARPUの向上
 - KDDIメタルプラスは中長期的に300万超の顧客基盤の維持により収益を下支え

固定通信事業の営業利益イメージ

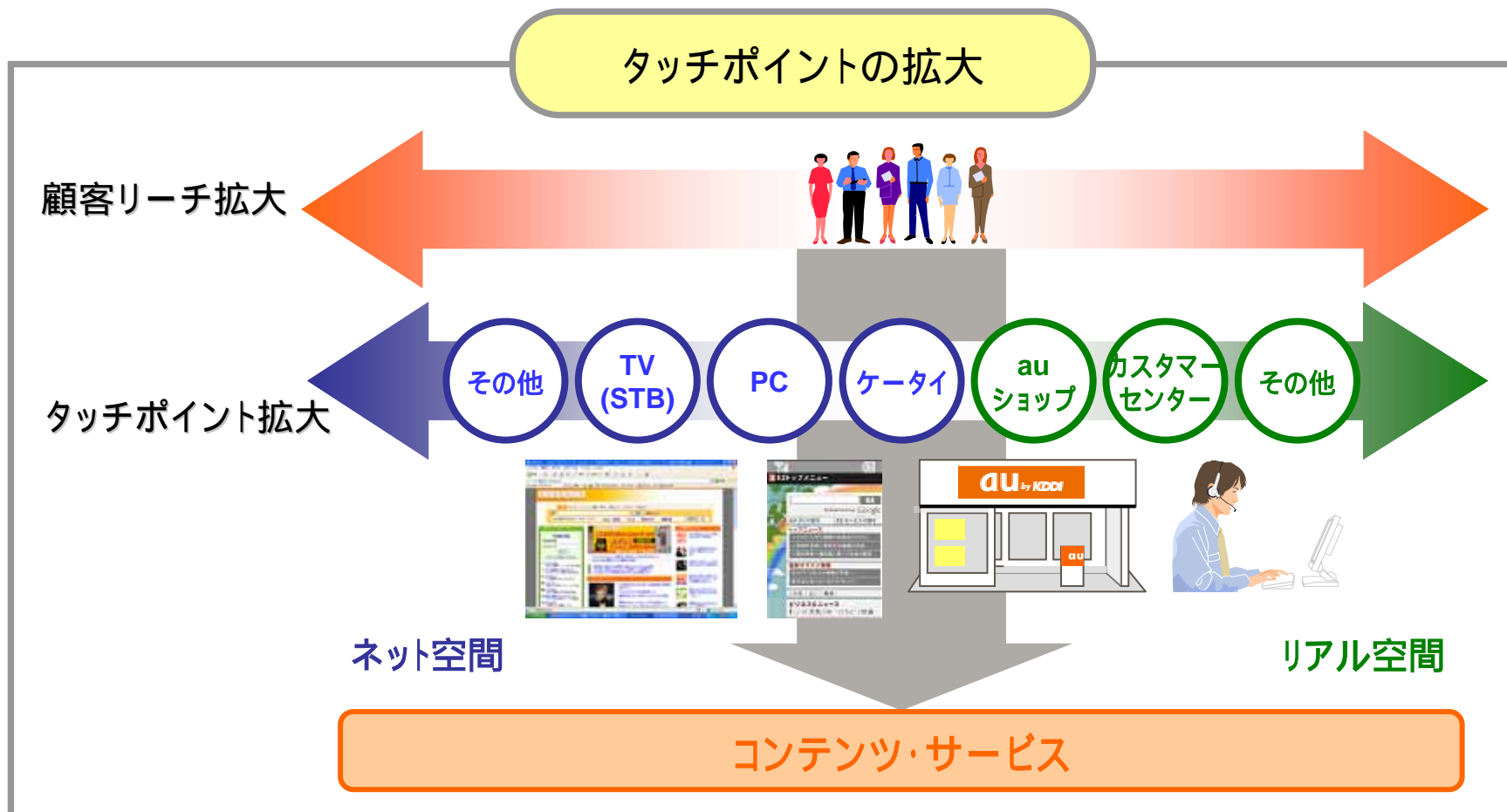
(注) 法人向けを含む。



コンテンツ・メディアビジネスの拡大

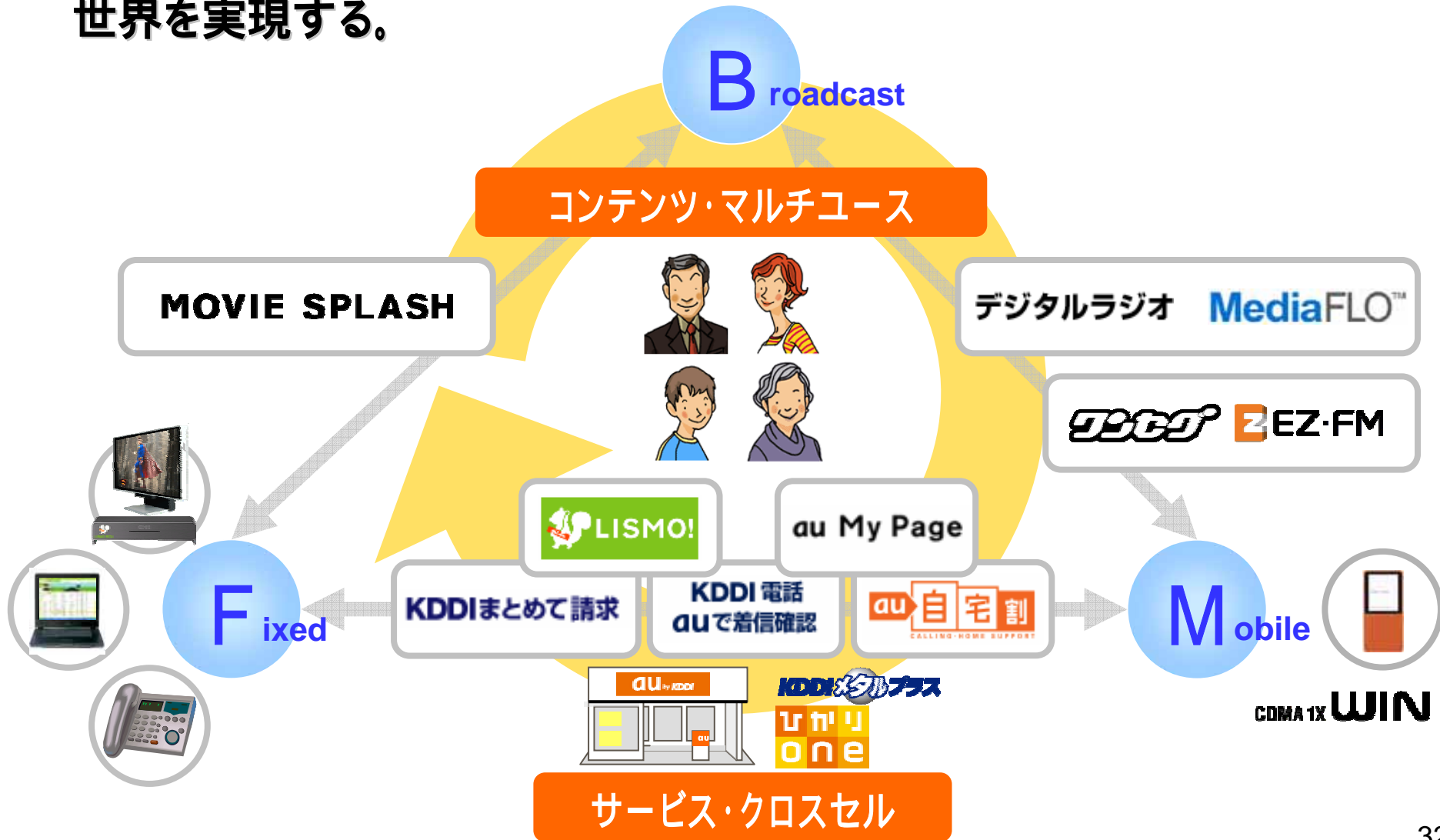
チャレンジ

- タッチポイント(顧客接点)の拡大・強化により、広範な世代にわたる多様なセグメントにリーチし、コンテンツ利用人口を拡大する。
- 2006年度の売上実績は272億円。2010年度には約2.5倍の拡大を目指し、更なる収益拡大を図る。



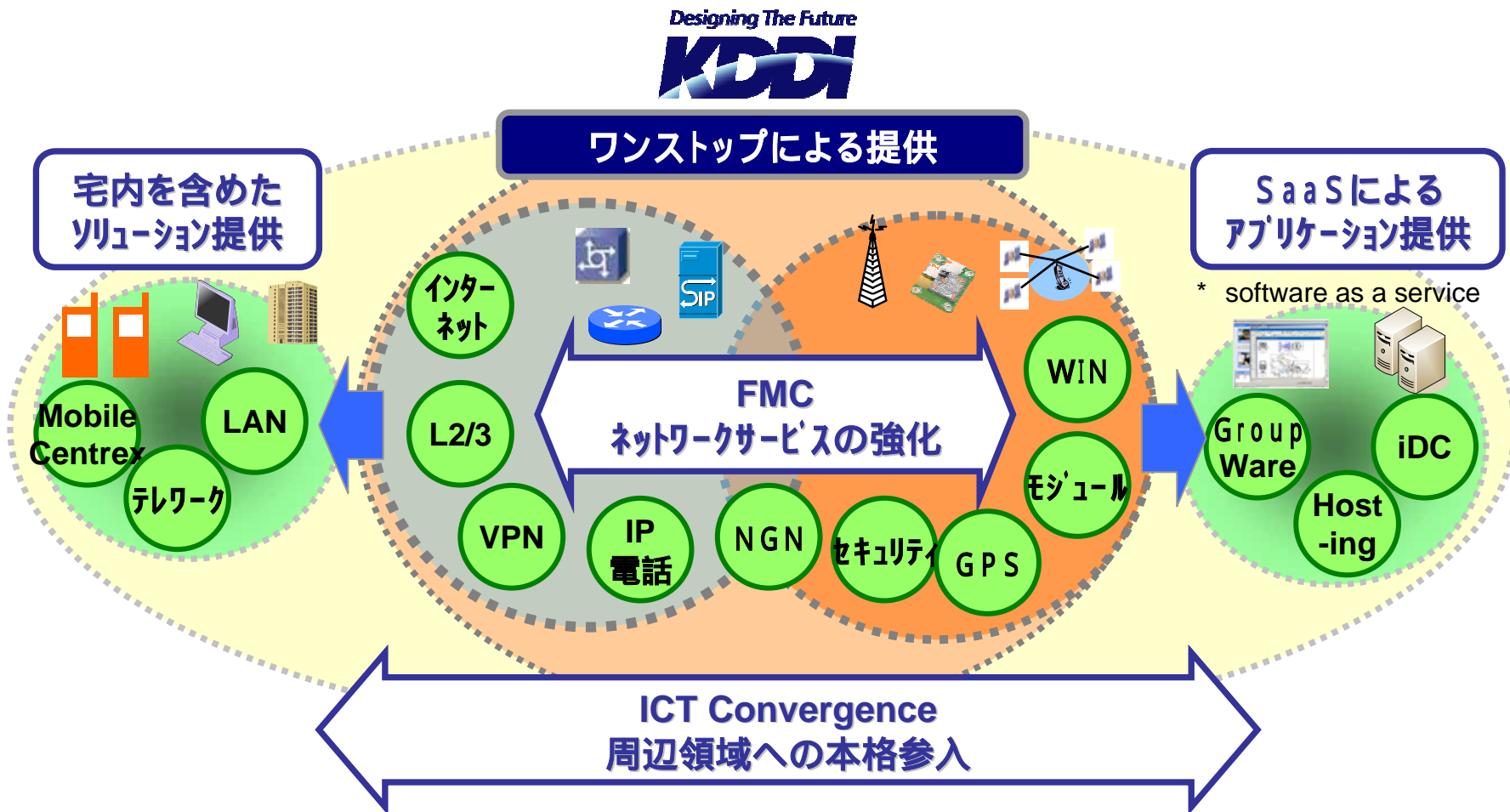
コンシューマ向けFMBC展開

- お客様が利用デバイスの区別を意識することなく、多様なコンテンツやサービスを、いつでもどこでも最適な通信環境でご利用いただける世界を実現する。



- ネットワークサービスの一層の強化と周辺領域への本格参入により、ICTをワンストップで提供するオールラウンドプレイヤーへの発展を目指す。

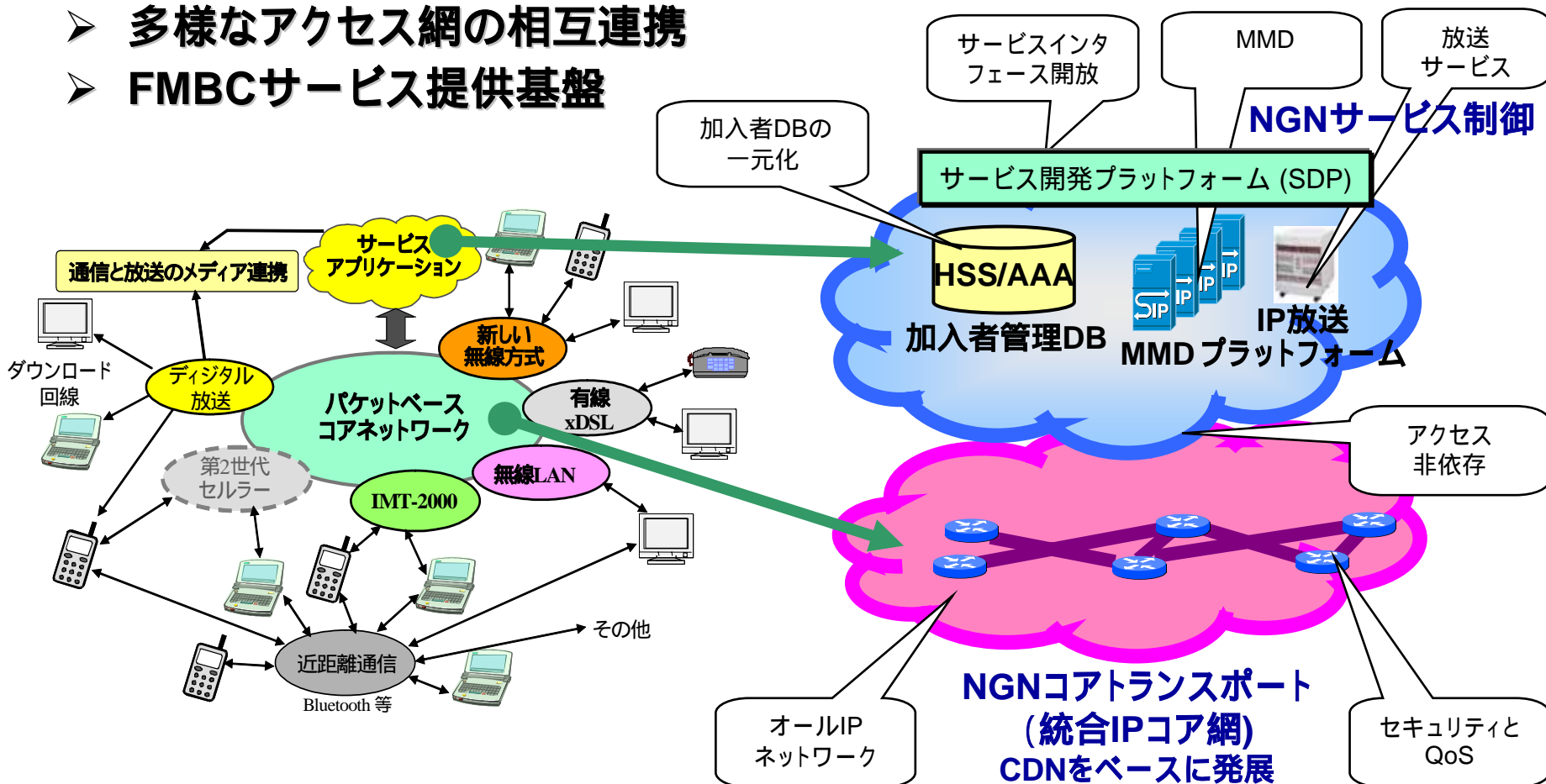
*Information and Communication Technology



「ウルトラ3G」構想下、移動体(MMD)をベースにした先行化・差異化を図り、KDDIのNGNを構築する。

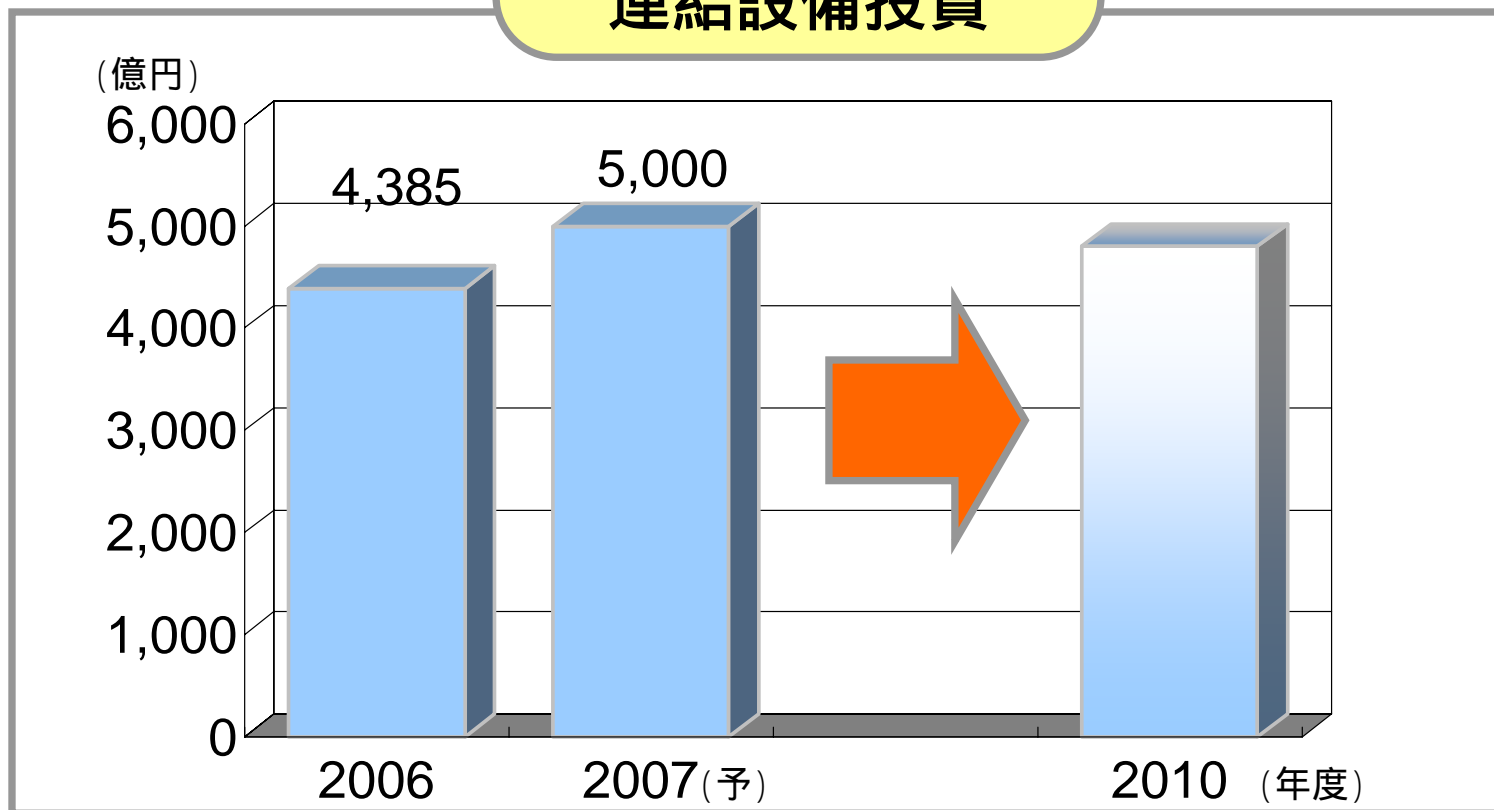
MMD: Multimedia Domain
 NGN: Next Generation Network

- 多様なアクセス網の相互連携
- FMBCサービス提供基盤



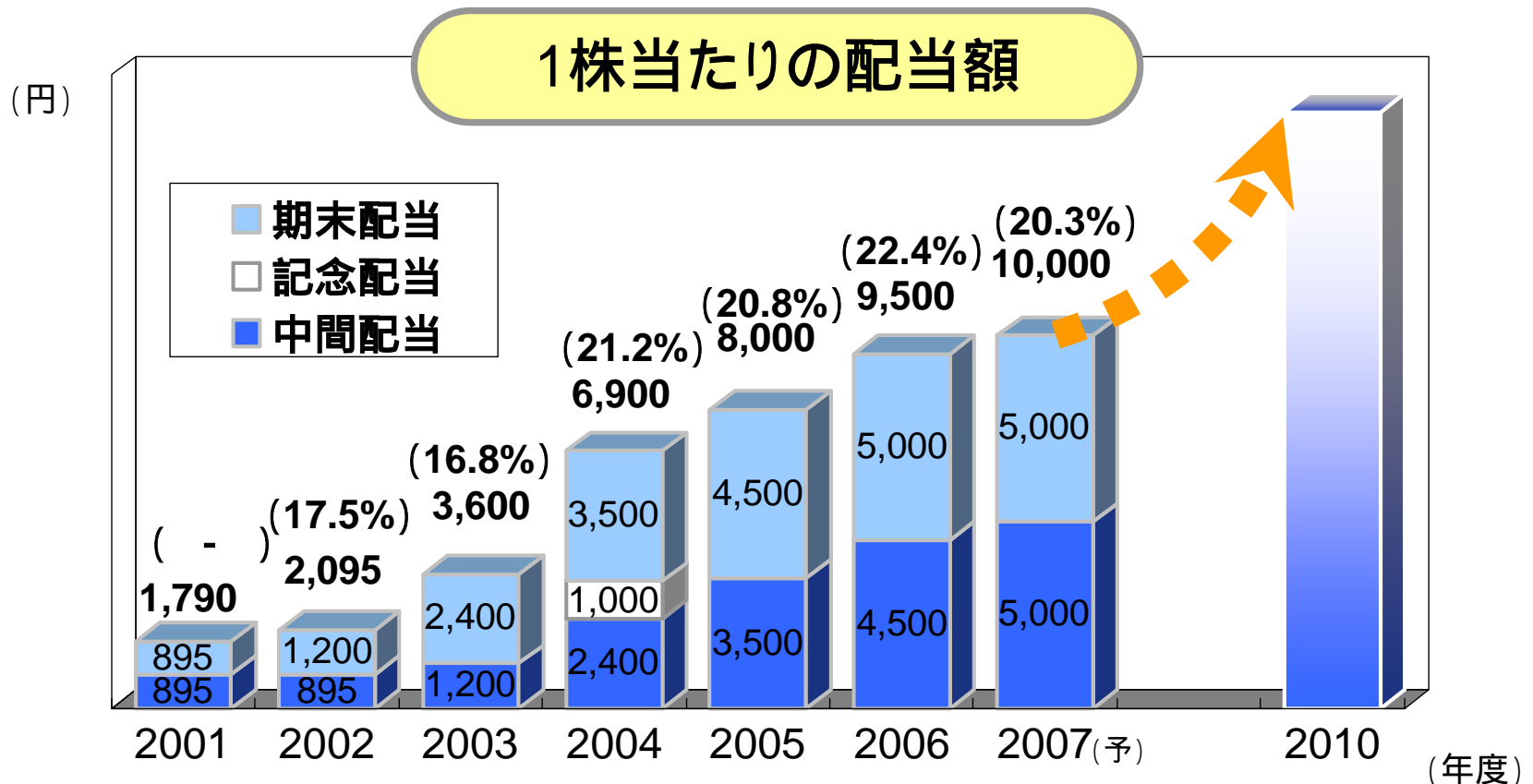
- 顧客基盤拡大、持続的成長のための設備投資を優先する。

連結設備投資



株主還元方針

- 持続的な成長への投資を勘案しつつ、連結配当性向20%以上を目標に、安定的な配当を継続する。
- 機動的な資本政策の観点から自己株式の取得を弾力的に実施する。



(注) ()は配当性向。2005年度までは単体ベース、2006年度より連結ベース。2001年度は純損失のため、(-)表示。

~2010年

- 公正競争ルールの整備等(新競争促進プログラム2010)
 - モバイルビジネス研究会
(販売奨励金、SIMロック解除、MVNO)
 - ネットワークの中立性に関する懇談会
 - ユニバーサルサービス研究会
- ICT国際競争力懇談会
- 通信と放送の総合的な法体系に関する研究会

2010年時点

NTTの組織問題の検討

KDDIは「量的拡大」と「質的向上」の両立により、
エクセレントカンパニーを目指します。

